



三重県の県政情報をお届けします

県政だより

みえ

8

令和2年(2020)
No.433

◎毎月1日発行
◎毎月第1日曜日
新聞折込

僕が呟くTwitterも
フォローしてね!



©PSP/T-e
三重県応援キャラクター
うさぎのつばさ

若者の県内定着をめざして



県では、県内外のさまざまな人から選
ばれ、人との交流が深まり、豊かに暮ら
すことができる三重をめざす取り組みを
進めています。

今号では、若者の県内定着に焦点を当
て、県内の高等教育機関の魅力や、県の
就職・移住に関する支援策などを紹介し
ます。

県のテレビ番組

三重テレビ 県政だより みえ
第3日曜 18時45分～

CBCテレビ よしお兄さんの
「パパにみえてきましたね」
(報道情報ワイド番組「チャント!」内)

水曜 16時30分ごろ～

県のラジオ番組

FM三重 三重県からのお知らせ
月曜～金曜 7時43分～ 金曜 18時25分～
テンミニッツ

聴いとこ! 知っとこ! 10min みえ!
火曜 18時22分～

注目情報

令和3年3月31日(水)が処理期限です PCBを含む照明器具が 残っていませんか?

古い建物に設置されている照明器具(蛍光灯・水銀灯など)の安定器には、ポリ塩化ビフェニル(PCB)*が使用されている可能性があります。PCBを含む照明器具の安定器は、令和3年3月31日(水)までに処分することが法律で定められています。

※ポリ塩化ビフェニル(PCB)…安定した性質を持つ化学物質のため、照明器具の安定器、変圧器やコンデンサーなどに利用されていましたが、昭和43(1968)年に健康被害が発生し、現在は製造・輸入ともに禁止されています。

問い合わせ先・発見時連絡先

環境生活部 廃棄物対策局 廃棄物・リサイクル課 ☎059・224・2475 FAX059・222・8136 ✉haikik@pref.mie.lg.jp

倉庫・店舗・事務所・工場などの確認をお願いします!

次の項目にすべて当てはまる場合、照明器具の安定器にPCBが使用されている可能性があります。

- ①昭和52(1977)年3月以前に建築された建物である。
- ②事業用の建物か共同住宅である。
- ③昭和52年4月以降に交換・処分をしていない照明器具がある。



PCBが含まれるかどうかは、照明器具のラベルや安定器の銘板を確認し、各製造メーカーへお問い合わせください。詳しくは、ホームページをご覧ください。 [環境省 PCB判別](#) [Q検索](#)

8月号 プレゼントクイズ

「?」に当てはまる文字を
教えてください。

Q 若者の?をめざして

正解者の中から抽選で10人に
海女もん 天然ワカメ(乾燥)をプレゼント!
(当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます)

応募締切 令和2年8月31日(月)到着分まで
応募方法 ハガキ、メール、マークの動画アンケート(特集)で住所、名前、電話番号、県政だよりの入手先、クイズの答え、県政だよりの感想をご記入のうえ、ご応募ください。※動画アンケートにご協力いただいた場合、2口分のご応募とさせていただきます。

〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課
「県政だより8月号プレゼントクイズ」係
✉koho@pref.mie.lg.jp

三重県の
人口・世帯数

人 □ / 1,771,147人
(男性:865,259人 女性:905,888人)
世帯数 / 748,559世帯 (令和2年6月1日現在)

いろいろな
「県政だより みえ」
を発信しています!

県ホームページ

「電子ブック版」 「PDF版」 「声の三重県だより」

県政だより みえ [Q検索](#)



スマホアプリ

マチイロ



若者の県内定着をめざして

県では、若者の県内定着を促進するため、関係機関と連携しながら「学ぶ」「働く」「暮らす」の3つの視点による取り組みを進めています。

学びの分野・特徴が魅力

県内の14高等教育機関では、それぞれの特徴を生かした取り組みを進めるとともに、県と「高等教育コンソーシアムみえ」を組織して、より一層の魅力向上を図るため、単位互換制度を活用した授業科目の開放や「三重創生ファンタジスタ」の養成などに取り組んでいます。

- | 大学 | 短期大学 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●三重大学 (津市) 「三重の力を世界へ」を掲げ、地域に根差し、国際社会の発展につながる人材を育成します。 ●県立看護大学 (津市) 時代の医療ニーズに即して、地域の人々の健康づくりに貢献する看護職を育成します。 ●四日市大学 (四日市市) 社会人としての実践力に加え、環境や情報、まちづくりを学び、地域貢献できる人材を育成します。 ●四日市看護医療大学 (四日市市) 地域を支える保健師・助産師・看護師と臨床検査技師・細胞検査士を育成します。 ●鈴鹿医療科学大学 (鈴鹿市) 知性と人間性を兼ね備えた医療・福祉のスペシャリストを育成します。 ●鈴鹿大学 (鈴鹿市) 新たな価値創造ができる人材、小学校教員、幼稚園教諭、保育士、養護教諭を育成します。 ●皇学館大学 (伊勢市) 日本文化を基に、幅広い教養と豊かな人間性を備えた、社会の中核を担う人材を育成します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●津市立三重短期大学 (津市) 栄養士資格や福祉心理、居住環境、法律経済の学びから社会で活躍する人材を育成します。 ●鈴鹿大学短期大学部 (鈴鹿市) 地域を支え活躍できる栄養士、栄養教諭、小学校教員、幼稚園教諭、保育士を育成します。 ●高田短期大学 (津市) 高度な専門知識や技能・技術を備えた保育士・オフィスワーカー・介護福祉士を育成します。 ●ユマニテック短期大学 (四日市市) 実践力を身につけた幼稚園教諭、保育士を育成します。 |
| 高等専門学校 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●鈴鹿工業高等専門学校 (鈴鹿市) 地域の発展に貢献でき、新たな社会を築く実践的・創造的技術者を育成します。 ●鳥羽商船高等専門学校 (鳥羽市) 人間力にあふれた、創造性豊かで国際的に活躍できる、高度な実践的技術者を育成します。 ●近畿大学工業高等専門学校 (名張市) サイバーセキュリティ・AI・ロボティクスなど、最新の高度技術者を育成します。 | |

魅力1 **「単位互換制度」**
 他校の授業を受講し、単位を取得！
 他校の特色ある授業を受講し、単位の取得につなげられるとともに、他校の学生とも交流できます。今年度は、8校の約40科目が対象となっています。

魅力2 **「三重創生ファンタジスタ」資格**
 三重を深く学べます！
 「三重創生ファンタジスタ」とは、地域に深く関心を持ち、主体的に活躍する人材のことで、座学だけでなく、地域に出向いて学ぶフィールドワークなどを通じて、地域の課題を知り、解決に向けて学んでいきます。

「学ぶ」「働く」「暮らす」の視点でめざす
希望がかない、選ばれる三重
 動画は令和2年9月27日(日)まで視聴できます。
 アプリを使って、知事にかざしてください。知事からのメッセージが動画で見られます！



移住に関する情報発信と学生・既卒者への居住支援
■移住相談窓口
 東京に相談窓口を常設しているほか、大阪・名古屋でも定期的に移住相談デスクを実施しています。
ええとこやんか三重 移住相談センター
東京 ふるさと回帰支援センター内(東京交通会館8階)／火～日曜日 ※移住相談アドバイザーと就職相談アドバイザーが常駐しています。

県内企業への就職・定着を支援
■ジョブカフェ「おしごと広場みえ」
 就職活動中の若者に対して、相談から職業紹介まで一貫した支援を行っています。オンラインによる就職相談・模擬面接も実施しています。
 おしごと広場みえ Q検索



移住相談デスク
大阪 大阪ふるさと暮らし情報センター(シティプラザ大阪1階)／第2土曜日 県関西事務所／原則奇数月第4火曜日(完全予約制)
名古屋 モンベル名古屋店内(ナディアパーク ロフト6階)／偶数月第3土曜日

■三重県移住・交流ポータルサイト「ええとこやんか三重」
 東京・大阪・名古屋で行う相談会や空き家バンク、県内の各市町が実施している移住応援制度などの情報をお届けしています。
 ええとこやんか三重 Q検索

奨学金※返還額を助成 ※日本学生支援機構第一種奨学金またはこれに準ずる奨学金
 「過疎地域など指定地域への居住」や「県内での居住および県内産業への就業」などの条件を満たした場合、奨学金返還額の一部を助成します。
助成金額 [学生] 大学などで在学中に借り入れた奨学金総額の1/4(上限100万円) [既卒者] 支援対象者として認定された時点の奨学金借入残額の1/4(上限100万円)
対象 [学生] 大学などの在学中で就業先が決まっていない方 [既卒者] 大学など卒業後3年以上で就業先(三重県内)が決まっていない方 ※U・Iターンとなる県外居住者が対象
募集人数 40人 **募集期間** 令和3年1月29日(金)まで
 条件や申請方法など、詳しくはホームページをご覧ください。
 三重県奨学金支援 Q検索

■県内企業の情報発信
 県内には、働き方改革に積極的に取り組むなど、若者にとって働きやすい企業がたくさんあります。そのような魅力ある県内企業と県内で働きたい人をつなぐため、企業の求人情報や、インターンシップ情報の発信、WEB企業説明会の開催などに取り組んでいます。
 WEB企業説明会のようす

「みえ」の仕事マッチングサイトでは、県内企業の求人情報のほか、インターンシップ情報やイベント情報もご覧いただけます。
 みえ仕事マッチング Q検索

移住支援金を支給 最大100万円(単身は60万円)
 マッチングサイトを通じて東京圏から移住・就職した人に、三重県への移住にかかる費用を支援しています。
対象
 ・東京23区の在住者または東京圏在住で23区への通勤者 ※在住期間などに条件があります
 ・マッチングサイトに移住支援金の対象として掲載された仕事に就いた方 など
 移住支援金に関する詳細はこちらをご覧ください。 三重県 移住支援金 Q検索

問い合わせ先 **「学ぶ」・奨学金返還額の助成については** 戦略企画部 戦略企画総務課 ☎059・224・2009 ☎059・224・2069 ✉sensomu@pref.mie.lg.jp
「働く」については 雇用経済部 雇用対策課 ☎059・224・2465 ☎059・224・2455 ✉koyou@pref.mie.lg.jp
「暮らす」・移住支援金の支給については 地域連携部 地域支援課 ☎059・224・2420 ☎059・224・2219 ✉chiiki@pref.mie.lg.jp

戦後75年 戦争の現実と平和の大切さ

世代を超えて伝える

今年、戦後75年の節目の年です。県内では戦後生まれの人の割合が8割を超え、戦争を体験として語り継いでいくことが年々難しくなっていますが、戦争の実態を学ぶことはできません。私たち一人ひとりが、二度と戦争を起さないと先人の思いを継ぐことが大切です。

自由がない戦時中の暮らし

戦時中と現在の暮らしを比べた時の一番の違いは、今は自由に物が買えるということです。当時は戦争を遂行するために、国が人を動員し、また、食料や物資などを管理する体制でした。お米をはじめ、医薬品、魚介類、青果物、木炭、衣料品など、生活に必要なすべてのものが配給の対象でした。配給といっても無料ではなく、お金と政府から配られる切符が必要で、国が決めた数量分の物資しか買えない時代でした。



昭和20年7月29日の空襲で宇治山田市(現伊勢市)内の約6割が焼失した。

火の海に包まれたまちと復興

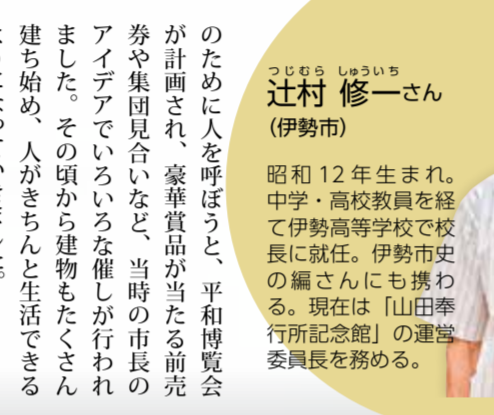
私が住んでいた宇治山田市(現伊勢市)では、合計7回の空襲があり、昭和20年7月29日の7回目の空襲が、一番大きな被害となりました。その日、自宅の防空壕から2キロ先の宮川の河川敷まで逃げたのですが、堤防の上で振り返ると、まちが火の海になっていたので見えました。落ちて来る焼夷弾や火から逃げる途中すく熱かったこと、河川敷に逃げた人だらけだったこと、このことを今でも覚えています。

親を失った人の比ではありませんが、空襲の後、一番苦しかったのは、家が焼けて何もかもなくなったことです。家が残った人は履き古した下駄や、古い物にしろ、着る服もありません。家を焼かれた人には何にも残っていません。終戦まもなくは配給の体制も整っていませんでした。食べていくことも大変だったと思います。家が、文房具など、生活に必要なものが何もない状態は、子どもながらに不安でした。

戦争を知らない皆さんへ

戦争を知らない世代の人たちに伝えるには、戦争を二度と起こさないために、戦争の実態を正しく知ってほしいということです。なぜ知る必要があるか。それは、人は物事を判断する時、自分の記憶や心に残っていることを頼りに判断を下すからです。戦時中は情報が操作されていて、後から考えれば理屈に合わないことも、言われたとおりに取り組む風潮がありました。正しい情報を伝えることの大切さを知るとともに、歴史的事実を自分の中に蓄積させておくことで、物事を判断する時、ごまかされずにきちんとした判断ができると思います。そのためにも、歴史的な事実に普段から触れる機会を増やしてほしいです。

8月は、戦争を知る催しがいろいろな所で開催されています。ぜひ出かけてみてください。



つむぢら しゅういち 辻村 修一さん (伊勢市) 昭和12年生まれ。中学・高校教員を経て伊勢高等学校校長に就任。伊勢市史の編さんにも携わる。現在は「山田奉行所記念館」の運営委員長を務める。

戦争が厳しくなると、徴兵で人がどんどんいなくなると、今という中学生や高校生も「学徒動員」で労働力として徴用されるようになりまし。子どもたちまで働かせないと国が仕事ができないう状態にあったと言えます。お米の配給も、不足分が麦から大豆のカスやとうもろこしに変わっていきま。昭和20年8月15日の終戦まで、口にするものがなにかないことはなく、我慢すれば何とかなったという生活でしたが、自由はありませんでした。



昭和23年開催の「平和博覧会」。戦後初の博覧会は、約55万人の人出で賑わった。

昭和23年には配給の統制も順次解除され、徐々に自由に物が買えるようになりまし。また、まちの復興が、空襲の後、一番苦しかったのは、家が焼けて何もかもなくなったことです。家が残った人は履き古した下駄や、古い物にしろ、着る服もありません。家を焼かれた人には何にも残っていません。終戦まもなくは配給の体制も整っていませんでした。食べていくことも大変だったと思います。家が、文房具など、生活に必要なものが何もない状態は、子どもながらに不安でした。

県では、平和の尊さや大切さを県民の皆さん、特に未来を担う若い世代に伝える機会づくりに取り組んでいます。

平和に関するパネル展
期間 8月4日(火)～16日(日) ※8月11日(火)は休館日
場所 県総合博物館(MieMu) 3階 学習交流スペース ほか

県内の戦争遺品や広島平和記念資料館から借用した「写真パネル」を展示します。
 ※県総合博物館の所蔵品は、「戦争と三重～子どもたちが見た戦争～」として、8月30日(日)まで3階企画展示室で展示中です。

平和啓発資料の貸し出し (対象: 学校・団体・市町)
 県が保有する平和啓発資料などの展示や、学校への貸し出しなどを行い、啓発活動を進めています。詳細は県ホームページをご覧ください。
 戦時体験朗読 CD ▶
 三重県 平和啓発 貸出 Q検索
 ホームページでは、戦争体験者インタビューがご覧いただけます。

問い合わせ先 戦略企画部 戦略企画総務課 ☎059・224・2009 ☎059・224・2069 ✉sensomu@pref.mie.lg.jp

みえの未来 につながる、人や団体の取り組みを紹介します。

豊かな三重の海と、海女文化を伝えていきたい

お仕事の魅力について教えてください
 鳥羽市の石鏡町で、海女をしながらフォトグラファーとしても活動しています。海女漁ではアビや海藻などを採っており、いつも持っているカメラで、自分で採った海産物や海中の様子などを撮影しています。海が好きで、いろいろな地域の海を潜ってきましたが、鳥羽の海は魚介や海藻が豊かで、まるで森が広がっている感じが。ワカメやアカモク、アラメなど、生えてくる海藻が季節が変わるため、海中の景色で四季が感じられるんですよ。これは、海女の

みんなが地区ごとにきっちり漁の期間や採取できる貝の大きさなどのルールを決めて、海を守るということを古くからつないできた結果だと思っています。海の恵みをいただいて暮らすというシンプルな生活ができるのは、この海の豊かさのおかげです。

めざしていることは何ですか
 この海を守っていくことです。海女は一つの共同体で、生活の中に漁があり、漁のルールを守るほか、漁の安全や大漁を祈願する行事を行うなど、海女特有の精神性を通して海を大事にしています。昔は石鏡だけでも約300人の海女がいましたが、今は50人ほどであり、現在海女をしている人たちがいなくなったら、海女文化や豊かな資源を守

さまざまな漁の道具。自分用に特注で作ったものも。(取材日:2020年3月11日)

東京都出身。鳥羽市地域おこし協力隊を経て石鏡町に定住。海女漁に携わりながら、写真撮影を通して海女や鳥羽の魅力発信中。

鳥羽市 海女/フォトグラファー おおの あいこ 大野 愛子さん

新型コロナウイルス感染症を克服し、三重の明るい未来を実現しよう！

みんなつく予算2021 アイデア募集

県では、「オール三重」で新型コロナウイルス感染症を乗り越えるため、令和3年度当初予算に向けて、新型コロナウイルス感染症対策に特化した「みんなつく予算」で県が取り組むべき事業について幅広くアイデアを募集しています。

募集テーマ

感染症防止対策と社会経済活動を両立しながら、三重を明るい未来へと導くアイデア

募集期間

令和2年8月31日(月)まで

応募資格

年齢・居住地を問わず、どなたでも応募できます。
※県職員、県議会議員および法人などを除く

募集カテゴリ

※1事業あたりの想定事業費は、およそ1,000万円以内とします

① 県民の命を守り抜く感染拡大の防止

県民の命を守り抜き感染拡大を防止する取り組みを募集します。

例 学校、職場、避難所などにおける感染防止対策



② 雇用の維持と新しい働き方

三重県らしい雇用の仕組みや新しい働き方を導入するためのアイデアを募集します。

例 在宅勤務やワーケーションなど新しい働き方の導入促進策



③ 地域経済の再生と進化

厳しい経営環境にも負けず反転攻勢するために必要なアイデアを募集します。

例 三重県の観光地や伝統産業の魅力をPRする新たな施策



④ 安全・安心な暮らしの再構築

不安を解消し、安心して暮らすことができるアイデアを募集します。

例 不妊に悩む家庭や子育て家庭などへの相談、支援策



⑤ 分断と軋轢からの脱却

差別・偏見のない三重づくりに必要なアイデアを募集します。

例 さまざまな差別や偏見を防止するための啓発に関する施策



⑥ 新たな人材育成への転換

デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進に対応した新たな人材育成策に関するアイデアを募集します。

例 オンライン環境を生かして教育・研修の効果を高める施策



※デジタル・トランスフォーメーション
…ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること

「みんなつく予算」とは

「みんなてつくるか みえの予算」の略称で、県民の皆さんから事業提案・投票などをしていただき、最終的に選定された事業を県政に反映させる取り組みです。

(令和元年度に開始。令和2年度当初予算に6事業を反映。)

応募方法

三重県電子申請・届出システム、メール、郵送などにより所定の様式で応募できます。詳細は県ホームページをご確認ください。

問い合わせ先 総務部 財政課

☎059・224・2216 FAX 059・224・2125

✉zaisei@pref.mie.lg.jp

三重県電子申請・届出システム



みんなつく予算 2021 Q検索

県民の皆さんへ

引き続き、「新しい生活様式」の定着に向けた感染防止対策の徹底をお願いします。

- まめに手洗い、手指消毒をする
- 「3密」(密閉、密集、密接)の回避
- 人との間隔(2m程度)の確保



新型コロナウイルス感染症に関する最新情報は県ホームページでご確認ください。

三重県新型コロナウイルス感染症特設サイト



新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談

新型コロナウイルス感染症相談窓口(9時~21時 土日祝も対応)

☎059・224・2339 FAX 059・224・2344

詳細は、各問い合わせ先へお願いします。

お知らせ

環境工房「たまねぎ染め」

日時 9月5日(土)13時~15時30分

場所 県環境学習情報センター 対象 16歳以上

受付 8月12日(水)まで(応募者多数の場合は抽選) 料金 500円
玉ネギの皮を使ったエコバックの絞り染め体験を実施します。

問 県環境学習情報センター 三重県環境学習情報センター Q検索
☎059・329・2000 FAX 059・329・2909

医療通訳育成研修

受講選抜テスト 8月23日(日) 場所 みえ県民交流センター

受付 8月14日(金)まで 料金 無料

9~11月に実施する全4回の研修(対象言語:ポルトガル語、ベトナム語、中国語、フィリピン語、スペイン語)の受講生を募集します。

問 (公財)三重県国際交流財団 ☎059・223・5006

第7回健康野菜たっぷり料理グランプリ

受付 8月17日(月)~9月25日(金)

応募資格 県内在住で、11月13日(金)の動画撮影に参加できる方
野菜をたっぷり使った栄養バランスのとれたお弁当レシピを募集します。

問 医療保健部 健康推進課 第7回ページ1グランプリ Q検索
☎059・224・2294 FAX 059・224・2340

第7回みえの森フォトコンテスト

受付 10月11日(日)まで

応募資格 県内に在住または通学・通園(所)している18歳以下の方
「三重の森林」をテーマに、「森林や木」「森林や木と人とのふれあい」などを表現した写真を募集します。

問 みえ森づくりサポートセンター 第7回みえの森フォトコンテスト Q検索
☎059・261・1223 FAX 059・261・4153

相談窓口

雇用関係助成金等相談窓口

(三重県よろず支援拠点内) ☎059・228・3326

受付時間 平日8時30分~17時15分(面談は要事前予約)

期間 令和3年3月17日(水)まで

「雇用調整助成金」をはじめとする雇用維持に関する国の支援制度などについて相談できます。

問 三重県 雇用関係助成金等相談窓口 Q検索

マタニティほっとライン ☎0594・21・4935

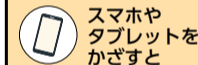
受付時間 電話相談:月・水・金・土 12時~15時

オンライン相談:月・水・金 9時~12時 ※祝日、年末年始を除く

期間 令和3年3月31日(水)まで

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、出産に関する不安などについて、電話・オンライン(LINEビデオ通話)で相談できます。

問 みくくみえ Q検索



動画が見られます!

1 まずはアプリ「AR」をダウンロード!
右記二次元コードよりダウンロードください



2 アプリを起動し、マークがついた箇所にかざす
3 スキャン後動画が始まります

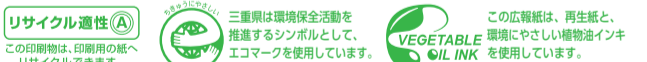
- お知らせは、県のフェイスブックやツイッターでも配信しています。
- 「県政だより みえ」は、県および市町施設、スーパー、コンビニ、金融機関、郵便局などでも入手できます。

編集・発行 / 三重県広聴広報課

「県政だより みえ」に関するご意見・ご感想をお寄せください。点字版・音声版をご希望の方は、お問い合わせください。

〒514-8570(住所不要) 三重県広聴広報課
☎059・224・2788 FAX 059・224・2032 ✉koho@pref.mie.lg.jp
県庁電話案内(各課ご案内) ☎059・224・3070

次号のお知らせ 9月号は9月6日(日)に新聞折込予定です。



弁護士法人心



所属弁護士40名以上!!

※主たる事務所は愛知県弁護士会所属 ※>内は所属弁護士会名です。※費用につきましては例外もありますので、詳しくはホームページをご覧ください。 ※本広告は、令和2年6月時点のものです。

津駅0.5分 弁護士法人心 津駅前法律事務所 <三重弁護士会>
近鉄四日市駅1分 弁護士法人心 四日市法律事務所 <三重弁護士会>
松阪駅1分 弁護士法人心 松阪駅前法律事務所 <三重弁護士会>

他の 名古屋駅・岐阜駅・豊田駅・東京駅・池袋駅・柏駅近く事務所・イオンモール名古屋みなと内他

相談料0円 (但し、交通事故被害・後遺障害・過払い金 借金・相続・遺言・労災以外は初回30分程度)
夜間・土日祝相談可 (要予約)

交通事故・後遺障害・過払い金・借金 相続・遺言・企業法務・労災他

交通事故 後遺障害 損害賠償額 適正等級 無料診断 サービス
過払い金 無料診断 サービス
遺言書 無料診断 サービス

受付時間 / 平日9時~21時 土日祝9時~18時 (12/31~1/3は除く、その他臨時休業もごさいませ) よいにしおさん
0120-41-2403
詳細は https://www.kokoro.law

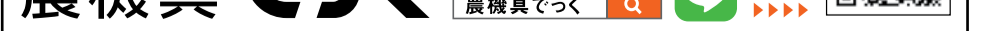
中古農機具の出張買取専門店

農機具買取・販売

トラクター・コンバイン・耕運機など 農機具ならなんでも 買取強化中 査定無料

お電話一本で伺います! [お電話受付時間]8:30~17:00 土・日・祝日も営業!

☎0120-911-775 農機具でっくは全国展開中
本社 津市白山町川口2200
茨城店 福岡店
農機具でっく LINEで簡単査定



「県政だより みえ」の発行経費の一部に充てるため企業広告を掲載していますが、内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。なお、掲載については、広告掲載業務の委託先である株式会社ホープ(☎092・716・1401)までお問い合わせください。